

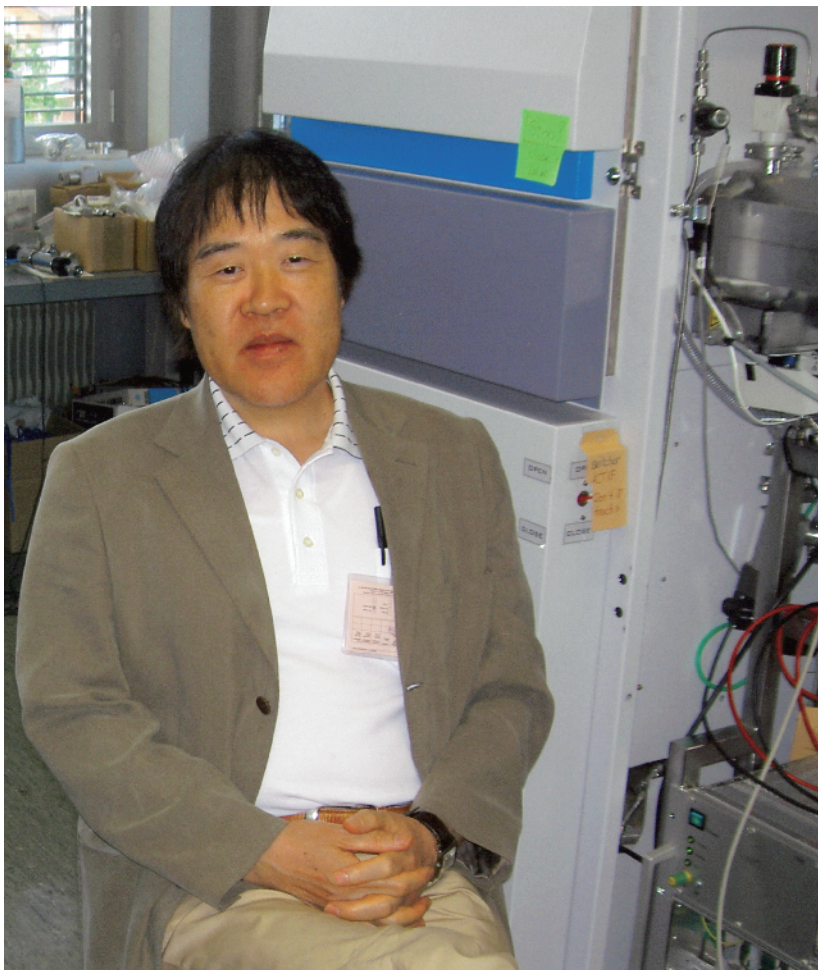
入居企業紹介 その89

新しく SICに入居された企業をご紹介します。

SIC3-303

アイセム

型にはまらず自分の色を出す



【代表プロフィール】

アイセム (i-SEM Laboratory)

代表 清水健一

工学博士、慶応義塾大学名誉教授、大阪市立大学客員教授
東京都立大学（現首都大学東京）大学院工学研究科博士課程
修了、日本学術振興会奨励研究員、マンチェスター工科大学
・The Royal Society客員研究員、慶應義塾大学経済学部化学教
室教授などを経て今年3月定年退官。

東京都立大学大学院で勉強する喜びに芽生え、マンチェス
ター工科大学では、世界最先端の技術に触れ、公平な研究の
機会を得ることが出来た事が今日に繋がっていると話す清水
教授は、腐食・防食、ナノ表面分析及び電子顕微鏡の分野で
第一人者。

ご結婚を機にイギリスから帰国されたとのこと。偶然にも奥様は大学時代の英語教授の娘さんで、家族を大切にしている。清水教授いわく、「家族を蔑（ないがし）ろにしてまで行う研究はない」。

長野県上田生まれ。2009年公開されたアニメ映画『サマーウォーズ』の舞台が、生まれ故郷だったため大変驚かれたとのこと。

相模原市在住。

趣味は猫の観察。2匹の猫と1匹の犬が同居中。

【起業しようと思ったきっかけは？】

めっき皮膜などの様々な表面処理皮膜、半導体デバイス断面の迅速な観察法の確立は、日本の製造業が国際競争力を維持するうえで極めて重要な課題になっている。

大学の退官を機に、これまでに培った表面観察・分析の技術により、ものづくり企業の表面処理の技術力向上をサポートしたいと考え起業した。

【事業紹介】

めっき皮膜など様々な表面処理皮膜、半導体デバイスなどの断面観察の分野において、次の事業を行う。

- ・超低加速・超高分解能走査電子顕微鏡と高周波グロー放電スパッタ法による迅速サンプル前処理法の普及（セミナーや相談企業先での現地指導）
- ・超マイクロームによる断面試料作製及び技術指導。
- ・新規電子顕微鏡試料作製装置の開発。

今うまく行っているものを変える必要はないという考えにはNO! 「型にはまっただけではいけない。自分の色を出していくという研究姿勢が大切。今日を凌げば明日はある。未来は考えない。」と話す清水教授。

皮膜に関する事なら何でもご相談くださいとの事です。

アイセム

SIC-3 3303

☎090 (9308) 9407



入居企業ピックアップ

●今月の掲載記事紹介

4月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲載していますので、どうぞご覧ください。

4月1日(日) ヤマザキ材料開発研究所
相模経済新聞「人材を生かす“場づくり”で、当事者として事業にかかわる」

入居企業の皆様へご案内 5月の販売予定日 in SIC-1・2

かわせみの家

社会福祉法人 文化は源流
相模原市緑区 かわせみの家



なくなり次第終了です。

<http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>
10日(木)

手作りクッキーや手作りケーキを販売します

営業時間 11:30 ~ 13:00

カリメーラ



NATURAL STYLE BAKERY

なくなり次第終了です。

<http://e-sagami.jp/karime-ra>
2日(水)

11日(金)

18日(金)

25日(金)

自家製天然酵母パンを販売します

営業時間 11:45 ~ 13:00



入居企業の皆様へ クールビズの実施について



SICでは今年も5月1日から10月31日までの6か月間、クールビズを実施します。

SICスタッフはこの期間中、軽装、ノーネクタイとなりますのでご了承ください。またエアコンが必要な時期には、節電のため設定温度を28度Cといたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

(SIC 事務室)

ご案内

協創プロジェクト交流会の開催について

- 開催日 : 平成24年6月18日(月)
- ◆スケジュール:
 - <企業各社によるアイデア説明会> 16時30分~18時
 - ・会場 サン・エールさがみはら2階 ホール
 - <懇親会> 16時15分~20時
 - ・会場 サン・エールさがみはら1階 多目的室
 - ・懇親会費 2000円
- お申込み: 6月8日までにさがみはら産業創造センターHPの申込フォーム、またはFAXにて、貴社名・参加人数・参加者名・役職・メールアドレスをお知らせください。E-Mailにてお申込みください。
- ◆お問合せ: ㈱さがみはら産業創造センター
URL: www.sic-sagamihara.jp
TEL: 042-770-9974 FAX: 042-770-9077
担当: 嶋田・五島・林

2012年5月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理: 4月源泉税・地方税納付、決算業務 税務: 確定申告・法人税等納付、申告期限諸届
社会保険/労務保険: 労働保険申告・保険料の支払い(1年分) 登記: 役員変更等

「かわせみの家」さん出店日

「カリメーラ」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
29 昭和の日	30 振替休日	1 会議室7月分 予約受付開始	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日
6	7	8	9	10	11 SIC-1 ガラス清掃	12 SIC-1 床面定期清掃
13	14 *SIC-1 エレベーター点検	15	16 SIC-2 空気環境測定	17	18 SIC-2 ガラス清掃	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1 会議室8月分 予約受付開始	2

*エレベーター点検 9:30~11:00の間はご利用になれません。

お問い合わせは 生井(内線1116)まで
SICのWEBサイトでもご覧頂けます。

ゲーミフィケーション

最近、とても面白い勉強会に参加する機会があった。「ゲーミフィケーション※でビジネスモデルにどのような工夫が出来るか。」がテーマだった。

「ゲーム」というと、囲碁、将棋などの伝統的なゲームがあるが、サッカー、野球などのスポーツとしてのゲーム、そしてコンピューターゲームから発展したオンラインゲーム、ソーシャルゲームなど多様な分野に広がっている。ビジネスの分野では、ビジネスゲーム、シミュレーションなどで「ゲーム」が活用されている。

例えば、「ナイキプラス」は、歩数だけでなく、移動距離、移動速度、時間が測定でき、それがネットでシェアできる。東京で走りながら、北海道の友人や、ネットで見つけたランニング仲間とともに走ることができ、離れた場所でも「ゲーム」することが出来る。また、AKB48の「選抜総選挙」「選抜じゃんけん大会」は、計測、順位、勝敗、フィードバックなどの要素を含んでいる事例である。このほか、スターバックス、ディズニーなどの多様な事例から、ビジネスとしての可能性が拡大している。

2011年8月、アメリカに本社を置き、IT分野の調査・助言を行う「ガードナー社」が、注目すべき大きなテクノロジーの1つとして「ゲーミフィケーション」という概念を選んだ。同社によれば「2015年までに、イノベーションを司る組織の半数以上が、そのプロセスにゲーム的な要素を取り入れ、2014年までに、グローバル企業2000社の内70%以上がマーケティングと顧客の維持のため、少なくとも一つ以上のゲーム化されたアプリケーションを持つだろう」という。

「朝起きて歯を磨くと歯ブラシについたセンサーが感知して、歯磨き粉メーカーから『よくできました!10ポイント』と褒められる。朝食にコーンフレークを食べると、ケログから10ポイント。通勤にバスを使うと政府からエコポイントが支給され、それは減税の対象になる。

定刻にオフィスに着いたら会社からポイント。打合せ先にバスにのらず歩いていくと、医療保険会社からポイント・・・。」カーネギーメロン大学教授のジェーシー・シェルが、講演の中で発表した未来のイメージだ。ゲーミフィケーションが日常空間に隅々まで展開したとき、我々の社会はこういったことになるかもしれないと言う。

「ゲームとして扱えなかったものをゲームとして扱えるようになったことで、小売業やサービス業は顧客との関係性を新たな形で構築する手法を得ることが出来、仕事は生活するためにいやいやするものではなく明瞭なフィードバックによってたのしみながら行うことができるものへと変わる可能性を持ってきた。」

私たちは、ビジネスの中で無意識にゲームを利用してようだ。もう一步踏み込んで、我々のビジネスモデルの中に「ゲーミフィケーション」の要素を取り込むことが新しいビジネスモデル創造へのチャンスかも知れない。

着想のヒント

- ・顧客との関係性強化のため、顧客のどのような行動を変える必要があるか考える
- ・フィードバックを可視化できる活動があるか考える
- ・ハマる行動のプロセスにヒントを探す
- ・新しい技術の変化に気付く
- ・ルールを変える視点の中にヒントを探す
- ・複数のルールを融合する
- ・既存のビジネスモデルを見直す視点から考える

※ゲーミフィケーション：「ゲームの考え方やデザイン・メカニクスなどの要素を、ゲーム以外の社会的な活動やサービスに利用するもの」とされている。

《参考》

○「ゲーミフィケーション」 井上明人著 NHK出版 2012.1.

私の好きな漢字!

このコラムでは、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介してまいります。

今月号ではSIC-3 3315号室に入居されている、レボックス株式会社の岩田さんにインタビューしました。

レボックス(株)は、LEDやプラズマ等の光源を用いた工業用や医療用、植物育成用、建築用などあらゆる分野における照明装置の設計・開発・製造を行っています。

またこの4月より、光応用計測装置(画像計測・欠陥検査等)の事業部を立ち上げ、経験豊富なスタッフによる設計・開発業務を開始しました。

その中で岩田さんは、LEDモジュールや電源、レンズ等、パーツ系の営業と通販サイトLED-ON(レッドオン)の運営を主に担当しています。それ以外に、HPや社内システムの管理等の業務も行っていきます。

好きな漢字は『徳』。

競争の激しい世の中、地味だけれども「徳」のある人、「徳」のある会社が長く続けられるのだと、信念を語ってくださった岩田さん。「お客様からの信頼を得、喜んでいただくために、人と同じことをやるのではなく、レボックスだからこそできるきめ細やかなサービスを提供し続けたい。」

【レボックス株式会社 岩田 尚美さん】

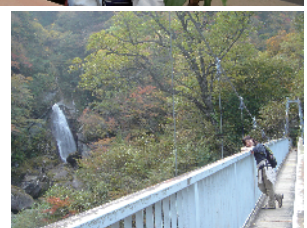
趣味は登山。自然の中を歩いて、軽く疲れたところで美味しい食べ物とビールを満喫し、温泉に入るといったパターンがお気に入りだそうです。レボックス(株)にも登山部ができ、活動を開始されるとのこと。

仕事も趣味も、生き生きと向き合ってらっしゃる姿が印象的でした。

徳



北海道 礼文島



山梨県 尾白川渓谷

証言で綴る SIC の歴史 ～ 女子美術大学との連携 ～

株式会社さがみはら産業創造センター
専務取締役 山本 満

～ヒューマンデザイン開発支援～

「女子美術大学と組んで中小企業のデザイン支援をやたら」という提案をSICアドバイザーの権藤さん（元松下電器のデザイナー）からいただいたのが始まりでした。事業の名前も権藤さんの命名だったと思います。権藤さんにはSICが活動を開始したころから入居企業や地域企業のプロダクトデザインを手伝っていただきました。

簡単な提案書を携えて麻溝台にある女子美術大学を権藤さんと訪ねたのが2001年の秋。とても良い反応で2002年4月には女子美術大学と「ヒューマンデザイン開発支援に関する協定」を締結することができました。今思えば「産学連携」とか「大学の地域貢献」が叫ばれ始めていた頃ですね。



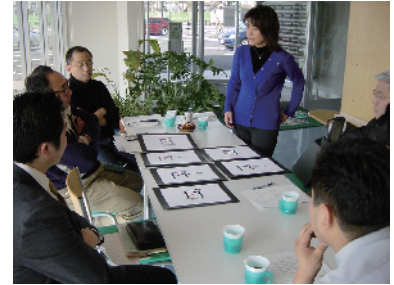
協定締結時の写真

協定締結が新聞で報道されるといういろいろな注文がきました。キャリーバック、お菓子の繊維素材の用途開発、自動車用シート、商店街や企業のロゴマーク、医療用検査キットなどなど。お客さんに途中でキャンセルされたり、開発中にお客さんが倒産したりと苦労もありましたが女子美術大学のスタッフや木下先生や小倉先生という良きパートナーを得て、いい仕事ができたとします。商品化され賞を獲得した製品もあります。

最近女子美術大学と組んだ仕事は減りましたが、若手デザイナーと組んで企業のCIを手伝ったり、ホームページを作ったり、製品展示会のコーディネートをしたりとデザインを通じた企業支援は今も盛んにやっています。こうしたSICの活動の原点は女子美術大学とともに取組んだ「ヒューマンデザイン開発支援」だと思っています。



二本松商栄会のキャラクター
マツポー



打ち合わせ風景



お菓子の開発案



腰痛軽減シート



キャリーバッグ

山本のめし屋レポート

日本酒とおいしい肴の店「wappoi」に行ってきました。

この店を教えてくれたのが緑区根小屋にある久保田酒造の杜氏久保田晃さん。

地元で扱う店が少ない久保田酒造のお酒が飲めると知って職場の仲間3人で繰り出しました。

いいお店でした。全国の銘酒がずらり。当然、久保田酒造の「相模灘」も。

当日は、蟹しゅうまい、鯛の桜蒸し、生桜海老のかき揚げ、椎茸と海老しんじょうの二見揚げ、炙りしめ鯖ぱってら寿司といっぱい食べて、いっぱい飲んできました。

日本酒好きにはたまらないお店です。

左から 蟹シュウマイ、鯛の桜蒸し、椎茸と海老しんじょうの二見揚げ。
メニューは季節ごとに変わるので、旬の味覚が楽しめます。

創作和食とお酒 「wappoi(わっぽい)」



■所在地 〒229-1103 相模原市緑区橋本 3-13 パークスクウェア 1階 ■TEL 042-774-7812 ■営業時間 lunch11:00-14:00 cafe14:00-17:00 dinner17:00-23:00 年中無休

編集後記

ゴールデンウィークはどのように過ごされましたか？今年には雨がちな天候で、暴風雨が吹き荒れる日もありました。SICでは雷雨のため自動扉が一部故障し、ご迷惑をおかけしました。これからも不安定な天候があるそうです。施設について不具合がありましたら、お知らせくださいますようお願いいたします。

三露

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター (SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21
電話 :042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ : <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp